

新車スカイラインバン

普通自動車の二代目に、プリンスのスカイラインバンを買った。

それまで乗っていた日産のダットサンピックアップは六人乗りで、運転席はベンチシートで三人掛け、後部も三人掛け、シートは倒せない。車の後部は雨ざらしの荷台で、冷蔵庫等大きい電化製品が積める。洋一の小学校修学旅行には、ダットサンで会津若松に行ったが、二郎の時はスカイラインだったから、昭和四十年に買い換えた事になる。

プリンスのセールスマンを呼び契約した。あの時のスカイラインバンDXは乗用車より値段が高い。消費税等無かったが、約七〇万円近かった。納車の時一括支払う事にし、条件など話し合った。

ナショナルで宣伝カラー色を塗装してくれる、ボディの色は白に塗装すること。サービスポイントはコレコレと決めた。

約一週間で納車、七十七銀行の小切手で支払いを済ませ、車を点検したら、不都合な箇所を見つけ、何時も世話になっている東映タクシーで整備係の鈴木さんに来てもらい見て貰った。

三ヶ所の不良箇所・不自然な所がある。メーカー色塗装を行った東京ボデーに行つて塗装前の車の様子を聞いた。直ちに七十七銀行に行き、小切手の支払い停止の手続きをとった。

手続きは次の通りだった。

一 自動車代金と同額を又小切手で銀行協会に供託する。

二 理由書を添付する。

(一) 注文したボデーの色は白だったが紺にした違反の理由

(二) 前面に付いているスカイラインの飾り金具のボンド付。

(三) 下から見るとボディに大きな凹みがある。

(四) 走行距離メーターは一〇〇〇キロになっているが何故か。

以上の説明を求める。納得出来れば支払い停止を解除する。



私からと銀行から電話が入り、セールスマンが飛んで来た。

宮城野原駅に勤め、車好きで岩沼から通っている太田さんにも来てもらい、三人で協議に入った。

セールスマンの説明と弁明は次の通り。

一 Q「注文した白に何故塗装しなかったか。」

A「白は入荷が遅れるので紺色にしました。」

Q「なぜ私の承諾を受けなかったのか。」

A「済みません。」

Q「これは重大な違反だから、受け取らないと言われても仕方がないと思うよ。」

二 Q「飾り金具は壊れているし、ボンド付けになっているが。」

A「東京ボデイで塗装前に剥がすとき壊してしまいました。あんな事して済みません、新しいのと交換します。」

三 Q「下部の凹みは」

A「全く気が付きませんでした。修理します。回送中に付いたのかもしれません。」

Q「事故車でないのか。」

A「絶対違います。」

四 Q「走行距離一〇〇〇キロだが、工場からの輸送方法は。」

A「遠回りです。」

Q「一〇〇〇キロは不自然だな。」

A「………返事なし。」

完全に修理すること、冬タイヤ四本と敷物など提供を条件に了承した。向こうは私にズコネられたら、ナショナルカラーに塗装してあるので、困ってしまうだろう。

三日で修理し納車してきた。完全に直してある。少しズコネルのが足りなかったかと悔やんだが。素晴らしいスカイラインに乗れて、納得する事にした。

スカイラインは約十年間故障らしき故障もしないで、私のパートナーとして動いてくれ、思い出を多く作って貰った。

これから書くエッセイにもスカイラインバンを多く出したいと思う